

2025年6月3日

メディア関係者・プラットフォーム事業者各位

2025年6月27日(金) 13時30分～14時45分 オンライン開催
第8回 自殺報道のあり方を考える勉強会
～最新研究報告 国内の自殺報道の変化とウェルテル効果～

厚生労働大臣指定法人・一般社団法人 いのち支える自殺対策推進センター（東京都千代田区、代表理事・清水康之、略称「JSCP」）は2025年6月27日（金）、自殺報道に関する勉強会を開催致します。

近年、WHO 自殺報道ガイドライン（『[自殺予防を推進するためにメディア関係者に知ってもらいたい基礎知識](#)』）がメディア関係者の間に浸透しつつあり、自殺報道の質にも変化がみられています。JSCP では、過去約15年の間に国内の自殺報道（主に有名人の自殺に関する報道）がどのように変化し、それがウェルテル効果（自殺報道の影響で自殺者数が増える現象）の抑止と関係があるかどうかについて、独自の研究を進めてきました。今回は、その分析結果や考察について中間報告する予定です。

昨年度の勉強会では、自殺報道に関する基礎的な情報を凝縮してお伝えし、約200名の方々にご参加いただきました。今回も同様に、勉強会に初めて参加される方などに役立つ基礎知識もお伝えします。初参加の方も、過去にご参加いただいたことがある方も、ぜひご参加ください。

勉強会では、以下の内容についてお伝えする予定です

※プログラム等の詳細は、HP に随時掲載していきます

<https://jscp.or.jp/action/detail/benkyokai-8th-information.html>

- 日本の自殺の概況
- WHO 自殺報道ガイドライン 「すべきこと」「してはいけないこと」とは
- データで解説 近年の自殺報道の影響 ～国内で確認された「ウェルテル効果」について～
- メディアの自殺報道の変化と、ウェルテル効果 ～JSCPによる最新の分析結果の報告～
- 近年の自殺報道から見える、新たな課題

本勉強会は、以下のような方々に特に適した内容です

- ✓ 自殺報道について、基礎から最新の動向まで短時間で知りたい
- ✓ 新人研修や部門研修の一環として／自殺報道への配慮が必要なポジションに新たに就いた
- ✓ 自殺報道に配慮すべき科学的根拠（エビデンス）が知りたい

- 日時：2025年6月27日（金） 13時30分～14時45分
- 対象：メディア関係者、プラットフォーム事業者等
- 形式：オンライン（Zoomウェビナー）
- 参加費：無料
- 申し込み：下記 URL または右記 QR コードから

<https://forms.office.com/r/EmvEM2YKSr> （6月25日（水）17時締め切り）

